



# 大里っ子チャレンジ通信

No.17 2017年11月02日(木)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

## KIN-BALL SPORT

### キンボール スポーツにチャレンジ!



11

月最初のチャレンジスクール(第17回)を2日(木)に実施しました。当日は、市内の「小中合同音楽会」と重なり、4年生が南浦和の文化センターに出かけていたので、やや寂しいスタートとなりました。前半の自主学習を終え、体育館に移動しました。講師の「毛部川」先生は自主学習の時間中に来校し、体育館で準備をしてくださっていました。いつものように児童の皆さんは元気いっぱい、体育館に入るとすぐにフロア中を駆け回っていましたが、移動前に注意した、「跳び箱やマット、金管バンドの鉄琴には触れないようにする。」という約束をしっかりと守っていました。「集合!」の声がかかった時もいつもより短時間で集まることが出来ました。「◎」ですね。( ^ )o(^)



毛部川先生がボールの説明をしています。ボールの両脇の2年生の身長と変わらない大きさです。ボールの中は空気ですが、触った感触は結構かたいものでした。(ボールの直径は122cm)

活

動を始める前に毛部川先生から「キンボール・スポーツ」についてのお話がありました。このスポーツはカナダで考案され、今では世界大会も開かれているそうです。(ネットで調べてみたら、考案されたのは1986年。国際大会の第1回が開催されたのは2001年だそうです。)チャレンジスクール当日も東京でワールドカップが開催されているということで、チャレンジスクールが終わったら毛部川先生も駆けつけるのだとおっしゃっていました。発祥の国はカナダですが、現在は日本が1位なのだそうです。凄いですね!

## お手伝いのお母さん大活躍!

当

日お手伝いをお願いしていたお母さん方の中で急きょ都合がつかなくなってしまった方がいらしたため、予定外のお二人のお母さん方にもお手伝いをお願いしてゲームを始めました。子どもたちと一緒に走り回ったりして大変だっと思います。ほんとうにありがとうございました。そしてお疲れ様でした。(TYさんのお母さんは素足になって頑張っていました。)





毛部川和枝 先生

# 最

初にチャレンジしたゲームは、体育館の真ん中にボールを置き、それぞれ両端から笛の合図でボールまで駆け寄り、じゃんけんをして勝った人がボールを相手の陣地まで転がしていくというものです。自分のチームの人がじゃんけんでは負けたら次の人がすぐに走って行ってボールを食い止め、そこでまたじゃんけん、というものです。最終的に相手チームまでボールを運びきったチームの勝ちです。

写真右上→手前のBくんがじゃんけんに勝ったようですね。  
写真左上と写真下→チームが勝って飛び上がって喜んでいる人もいますね。何でも夢中になれるのは良いことですね。



# ふ

たつ目のゲームは、左下の写真のように二人がボールを支えて、もう一人がボールに走り寄って両手でボールを打ち上げるといいます。ボールを打ち上げる前に大きな声で「オムニキン・ピンク」や「オムニキン・ブラック」などと言わなければなりません。飛び入りで参加して下さった西畑先生のリードでみんな恥ずかしがらずに大きな声が出ていましたね。



飛び入り参加して下さった西畑先生。2年生の担任ですが、他学年の子どもたちともすぐ打ち解けて盛り上がっていました。

# み

つつ目は、チームごとに手をつないで輪になって、輪の外から投げ入れられたボールを足や頭、肩などを使って、バレーボールのように何回トスが続くかというゲームでした。これもみんな上手にやっていました。そして、よつつ目のゲームは、ふたつ目とみつつ目を組み合わせたものでした。最後に、おわりの挨拶をする前に、11月が誕生日のKYくんとTS君がボールに乗せてもらいました。自分も乗せて欲しいと大勢の人から手があがりましたが、時間切れでした。残念！！



## 《うれしかったこと》

キンボールが始まってしばらくすると、小中合同音楽会から帰って来た4年生が途中から参加してくれました。前日までは「音楽会があるから欠席」と言っていたのに、疲れも見せず参加してくれたことでとても嬉しくなりました。感激です。(´O´)／

◎次回(第18回)のチャレンジスクールは、**11月9日(木)**です。

◎前半も後半もブックランドで行います。

◎前半は、いつもどおり「自主学習」です。

◎後半は、「石けんアート」にチャレンジします。

◎「はさみ」を持ってきてください。

※土曜だけ参加の人の実施日は、**11月18日(土)**の第19回です。「囲碁(2)」です。プロ棋士が講師です。

今号のタイトルイラストは、「オキザリス」。名前の由来は、ギリシャ語の「oxys(酸っぱい)」が語源。葉や茎に蔞酸(しゅうさん)を含み、酸味があることにちなんでいる。花言葉は、①「決してあなたを捨てません。」、②「輝く心」。①は保護者の皆さんに、②は児童の皆さんに贈りたい言葉です。どちらも大切にして欲しいですね。